給食新聞 2月号

NO. 045

2月の天気は平年並みに

みなさんこんにちは！！昨年は暖冬で、雪下野菜が作れないというニュースをお届けしていましたが、今シーズンは寒い冬となり雪もたくさん降りました。突然の大雪により各地で事故が多発しました。しかし良いニュースもあり、昨年危機的状況だったスキー場が今年は最高の雪質で、コロナ禍でも賑わいを見せたそうです。　　さて、気になるのは今後の天気だと思いますが、寒波の原因となっているラニーニャ現象が解消の兆しを見せており、2月～3月にかけては平年並みの天候になるようです。

２月号特集　じゃがいもを掘り下げよう

◆じゃがいもの歴史◆

じゃがいもは紀元前７０００年前からアンデスの高地で食べられていたという記録があるそうです。もともとは自然に生えている植物の根っこで、品種改良されて現在のじゃがいもになったそうです。日本には１７世紀の初めにジャカルタから入ってきました。「ジャカルタから来たいも」がなまって「ジャガイモ」になったそうです。物の名前の由来って意外とおもしろいですよね。

◆新じゃがって何？◆

国内のじゃがいもは北海道～九州の広い範囲で生産されています。そのため地域によって収穫時期が異なります。それにより一年中食べられる野菜なんですね。では、**新じゃが**とは何か？　通常のものは完熟してから収穫されるため水分が少なく長期保存できますが、完熟前の皮が薄いうちに収穫したものを**新じゃが**と呼ぶそうです。日持ちはしませんが美味しく、ビタミンＣも豊富です。これからの時期は九州産の新じゃがが出てきますので楽しみです。

給食では現在北海道産を使用していますが、3月へかけて九州産の新じゃがに変わる予定です。お楽しみに！

◆じゃがいも高騰の意外な理由◆

①北海道の５～６月の雨量不足による収穫量の減少②大雪による輸送ストップ。この他に意外な原因が。それはコロナ禍での需要の拡大だそうです。外食を控え家庭内での食事が増加し、保存ができるじゃがいもの需要が増えたことも原因の一つだそう。あるポテトチップス販売会社は販売を一時休止するほどだったようです。

今月のミニクイズ
これは何と読むでしょう？　「薯蕷芋」

２月号編集後記◆現代の物流は常にひっ迫した状況にあり、雪などで遅延すると遅れを取り戻すことは難しいそうです。宅配便の受け取りは配達時間の確認をし、なるべく再配達を依頼しないようにすること、必要以上の商品の購入はしないなど、個人が心掛ければ緩和されるということを知って、自分も気をつけようと思ったところでした。　　栄養部新聞係

正解：とろろいも